

令和5年度

社会福祉法人白浜町社会福祉協議会

事業報告書

(自 令和5年4月1日 ～ 至 令和6年3月31日)



社会福祉法人 白浜町社会福祉協議会

令和5年度事業報告

令和5年度は、5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、住民の皆さまの生活様式が様々な形で以前の暮らしを取り戻していく1年となりました。日常生活においては、買い物や外出などの経済活動や地域での交流活動などが徐々に再開された一方、近隣住民同士や町内会・区などにおける交流や地域活動が、新型コロナウイルス感染症拡大以前のような形に戻るには、まだまだ多くの時間が必要であると感じる1年でもありました。

法人運営において、理事会・評議員会、各委員会については昨年度に引き続いて可能な限り感染症対策を行い、開催に努めました。平成29年度から進めてきました社会福祉充実計画は令和5年度末で完了しました。また、社会福祉充実計画におけるボランティアセンター活動事業の一環として増築した建物を、基本財産として定款に追加しました。

地域福祉推進事業においては、4年度ぶりとなる「第5回みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル」が多くの皆さまに会場いただくなか開催され、白浜町社会福祉協議会社会福祉功労者表彰式や住民の皆さんの地域活動を紹介する「地域福祉のひろば」、ボランティアの皆さんによる販売や展示などを再開することができました。また、ふれあい・いきいきサロン事業や地域座談会、ボランティア活動などの住民同士の交流の場や生活支援サポーター養成講座などの研修会など、多くの事業を再開することができました。

このように地域活動が再開される一方、新型コロナウイルスはまだまだ感染対策が必要な状況が続いており、インフルエンザの流行などもあり、高齢者や障がいを持たれた方、児童を対象とした交流事業の再開に向けて、今後も継続的な支援が必要な状況が続いています。また、新型コロナ禍における生活福祉資金特例貸付事業が、通常的生活福祉資金貸付事業へ移行された後も、貸付に関する相談件数は横ばい状態であり、生活再建に向けての支援は今後も継続して取り組んでいかなければならない状況が続いています。

在宅介護事業では、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底しながらも5類移行に伴っての規制緩和を行いながら事業実施に努めました。苦情解決第三者委員会議、虐待防止委員会議の開催やBCP（業務継続計画）の策定を行いました。また、住民組織や町内小中学校の健康教室、福祉教育・福祉体験学習等へ職員の講師派遣を行い、地域福祉の増進に努めました。

本年度国内では、豪雨による水害や大規模地震による自然災害による被害が発生しています。本会では、被災地への支援を行っていくなか、災害への備えの重要性を再認識すると共に、住民の皆さんと自然災害についての研修会や学習機会の創出の大切さを感じております。今後も安心してその人らしく暮らし続けられる、「**⑤**だんの**④**らしの**③**あわせ」と、「ひとりひとりを大切にするまちしらはま」の実現を目指して、一つ一つ取り組みを進めて参ります。

1. 法人組織の運営（経営）基盤の充実

理事会、評議員会を開催し、本会の法人運営に関する重要事項や事業の実施について協議、決定を行った。

①執行機関としての理事会機能の充実

理 事 会 6回 (理事定数：7名以上15名以内、監事定数：2名以上)

会 議 名 開 催 日	議 長 ・ 出 席 数	議 案 審 議 内 容
決議の省略による理事会 (第1回理事会) 令和5年 4月14日(金)		議案第1号 定款の変更について 議案第2号 経理規程の一部改正について 議案第3号 令和5年度第1回評議員会の招集について
第2回理事会 令和5年 6月 7日(水)	議 長：薮義昭 (10名・監事1名)	議案第4号 令和4年度事業報告及び決算の承認について 議案第5号 評議員候補者の推薦について 議案第6号 令和5年度定時評議員会の招集について 会長業務執行状況
第3回理事会 令和5年 6月23日(金)	議 長：小川敦司 (11名・監事2名)	議案第7号 会長、副会長の選定について 議案第8号 企画委員会、広報啓発委員会の組織について
第4回理事会 令和5年 9月29日(金)	議 長：野々田憲市 (12名・監事2名)	議案第9号 令和5年度第1号補正収支予算について 議案第10号 令和5年度第3回評議員会の招集について
第5回理事会 令和5年12月22日(金)	議 長：新田喜久 (11名・監事1名)	議案第11号 車輛の処分について 議案第12号 令和5年度第2号補正収支予算について 議案第13号 令和5年度第4回評議員会の招集について 会長業務執行状況

会議名 開催日	議長・出席数	議案審議内容
第6回理事会 令和6年 3月19日(火)	議長：吉田暢子 (12名・監事2名)	議案第14号 職員給料規程の一部改正について 議案第15号 再任用職員就業規則の一部改正について 議案第16号 役員等賠償責任保険契約の締結について 議案第17号 令和5年度第3号補正収支予算について 議案第18号 令和6年度事業計画について 議案第19号 令和6年度収支予算について 議案第20号 令和5年度第5回評議員会の招集について

②議決機関としての評議員会機能の充実

評 議 員 会 5 回 (評議員定数：15名以上31名以内)

会議名 開催日	議長・議事録署名人 (敬称略)・出席数	議案審議内容
決議の省略による評議員会 (第1回評議員会) 令和5年 4月24日(月)		議案第1号 定款の変更について

<p>定時評議員会 令和5年 6月23日(金)</p>	<p>議長：三栖健次 署名人：中本ミヨ子 署名人：平阪恵 (23名・監事2名)</p>	<p>議案第2号 令和4年度事業報告及び決算の承認について 議案第3号 藪義昭氏を理事として選任する件について 議案第4号 野々田憲市氏を理事として選任する件について 議案第5号 小森正利氏を理事として選任する件について 議案第6号 川口祥子氏を理事として選任する件について 議案第7号 川野眞夫氏を理事として選任する件について 議案第8号 田井たづ子氏を理事として選任する件について 議案第9号 吉田暢子氏を理事として選任する件について 議案第10号 榎本和夫氏を理事として選任する件について 議案第11号 新田喜久氏を理事として選任する件について 議案第12号 小川敦司氏を理事として選任する件について 議案第13号 冷水喜久夫氏を理事として選任する件について 議案第14号 西浦敏和氏を理事として選任する件について 議案第15号 大谷博美氏を理事として選任する件について 議案第16号 光吉直也氏を監事として選任する件について 議案第17号 田井郁也氏を監事として選任する件について</p>
<p>第3回評議員会 令和5年10月11日(水)</p>	<p>議長：竹中義則 署名人：久保教子 署名人：山本滋久 (20名)</p>	<p>議案第18号 令和5年度第1号補正収支予算について</p>

第4回評議員会 令和6年 1月11日(木)	議長：上村佳士 署名人：小林亮 署名人：王地達雄 (21名)	議案第19号 令和5年度第2号補正収支予算について
第5回評議員会 令和6年 3月27日(水)	議長：東剛史 署名人：津越令 署名人：溝端雅芳 (22名)	議案第20号 令和5年度第3号補正収支予算について 議案第21号 令和6年度事業計画について 議案第22号 令和6年度収支予算について

③各委員会・問題別委員会の設置

企画委員会 1回

企画委員会委員：(大谷博美【委員長】、川口祥子【副委員長】、小川敦司、小森正利、田井たづ子、西浦敏和、新田喜久、野々田憲市)

オブザーバー：会長 冷水喜久夫

会議名 開催日	出席者数	協議内容
第1回企画委員会 令和5年 9月12日(火)	大谷委員長以下6名 冷水会長	1. 企画委員会委員長・副委員長の互選について 2. 「第5回みんな集まれ!しら・はぐフェスティバル」の開催内容について 3. 「第5回みんな集まれ!しら・はぐフェスティバル」における社会福祉協議会会長表彰候補者並びに感謝状授与候補者の審査について 4. その他

広報啓発委員会 1回

広報啓発委員会委員（川野眞夫【委員長】、田井たづ子【副委員長】、大谷博美、榎本和夫、藪義昭、吉田暢子）

オブザーバー：会長 冷水喜久夫

会議名 開催日	出席者数	協議内容
第1回広報啓発委員会 令和6年 3月19日（火）	川野委員長以下6名 冷水会長	1. 広報啓発委員会委員長・副委員長の互選について 2. 令和5年度広報啓発活動実施状況について 3. その他

評議員選任・解任委員会 1回

評議員選任・解任委員：（田井郁也【監事】、國本徹、三角孝【外部委員】、松本隆志【事務局員】）

会議名 開催日	出席者数	協議内容
第1回評議員選任・解任委員会 令和5年 6月15日（木）	田井郁也以下4名	1. 社会福祉法人白浜町社会福祉協議会評議員の選任について 2. その他

地域福祉推進計画作成委員会 1回

地域福祉推進計画作成委員会委員（田井たづ子【委員長】、辻本博文【副委員長】、大谷博美、榎本和夫、川口祥子、菊本仁和、小川敦司、中本ミヨ子、藪義昭）

アドバイザー：会長冷水喜久夫、白浜町民生課福祉係 平尚之、和歌山県社会福祉協議会総務企画部企画班主査 鍋田富美

助言者：日本福祉大学 学長補佐 野尻紀恵

事務局（事務局長、事務局次長、地域福祉担当職員 4名）

会議名 開催日	出席者数	協議内容
第1回第4期地域福祉推進計画作成委員会 令和6年 2月26日（月）	田井たづ子委員長以下6名 冷水会長	1. 第4期白浜町地域福祉推進計画冊子の概要説明について 2. アドバイザーからの計画推進に向けてのアドバイス 3. その他

④経営安定化のための財源の確保

⑤会員（一般会員、団体会員、賛助会員）の加入促進など自主財源の確保

- ・一般会費 5,171世帯(5038.2口) 5,038,200円（令和4年度 5,164,200円 前年比 97.6%）
 - ・団体会費 140件(201.8口) 1,009,000円（令和4年度 994,000円 前年比 101.5%）
 - ・賛助会費 8件(8口) 24,000円（令和4年度 24,000円 前年比 100%）
- 合計: 6,071,200円（令和4年度 6,182,200円 前年比 98.2%）
- ・寄附の受付・・・10件(うち物品寄附 4件)

⑥情報収集と情報の提供

- ・町広報誌「広報白浜」に広報紙「社協だより ふくししらはま」を掲載
- ・FMビーチステーションで毎週木曜日（12：10～12：15）に「FMふくしだより」を放送
- ・インターネットのホームページの開設及び適時更新、充実

⑦県市町村社協との連携

- ・和歌山県市町村社協連絡協議会へ参画
- ・田辺・西牟婁広域事業の実施

⑧役職員研修の実施及び福祉専門職としての資質向上と資格取得の推進

- ・各種関係機関主催の研修会への参加・・・【日別行事報告書参照】

⑨災害等に備えた組織基盤の整備と事業継続計画の作成への取り組み

2 . 白 浜 町 地 域 福 祉 推 進 計 画 の 推 進

①地域福祉推進計画作成委員会の設置及び委員会の開催

- ・白浜町地域福祉推進計画作成委員会を設置し、委員会を開催した。【P1－7記載】

②地域福祉推進計画作成委員会フィールドワークの実施

- ・白浜町地域福祉推進計画作成のためのアドバイザーとの打合せの実施

- ・日本福祉大学野尻教授並びに野尻ゼミ 3 年次生と町内全域の地域の状況の視察を実施、富田中学校ボランティアや安居小学校・三舞中学校への訪問を実施した。

開催日：令和 6 年 2 月 1 3 日（火）

場 所：白浜地域（三段壁その他地域状況）、富田地域（富田中学校）、日置川地域（市鹿野地区、安居小学校・三舞中学校）他

③地域福祉推進計画の実施状況の確認

- ・白浜町地域福祉推進計画作成委員会にて、進捗状況の確認を行った。

④地域住民との話し合いや相談などあらゆる接点からの福祉ニーズの拾い上げと分析

- ・地域に出向いて座談会等を開催し、地域住民、民生委員・児童委員並びにボランティアからの相談などにより把握した福祉ニーズに基づき、地域住民、行政、他の関係機関と連携しながら課題解決に向けた取り組みの推進を図った。

3 . ご 近 所 福 祉 体 制 づ くり （ 住 民 の 助 け 合 い ・ 支 え 合 い 活 動 を 活 性 化 し た 地 域 の 見 守 り ・ 支 援 体 制 づ くり ） 事 業 の 推 進

①地区担当職員(地域福祉専門員)の配置

- ・町内を 3 地域に区分し、地域福祉専門員を配置

②福祉委員活動の推進

- ・福祉委員を委嘱し、福祉課題を抱えて困っている方と関係機関とのつなぎ役として、また、声かけ、訪問などで地域の情報を得ていただく見守り役としての活動をお願いした。

福祉委員数・・・ 4 5 2 名 （白浜：3 2 7 名 日置川：1 2 5 名）

- ・福祉委員会議（地区懇談会）・・・5ヶ所（5地区）
- ・福祉委員長会議・・・4回開催 福祉委員活動、社協会費、共同募金、歳末たすけあい募金、バザー活動などについて、各地区の福祉委員長（16名）や副委員長（17名）と協議を行った。

③地域福祉座談会の開催と支え合いマップづくりの実施

- ・地域住民からのニーズに基づいた座談会、マップづくり活動、啓発活動、フォローアップ活動等を展開した。

日時	地区	内容
5月9日（火）	松原地区	地域福祉座談会（サロン活動について）
5月22日（月）	安居地区	安居小学校・三舞中学校地域福祉座談会
9月22日（金）	日置地区	日置中学校地域を元気にする意見交換会

④その人らしい「心豊かな生活」の実現を目指した地域住民の助け合い活動の啓発、推進

- ・啓発活動 町広報誌「広報白浜」内広報紙「社協だより ふくししらはま」 毎月掲載
- ・FMビーチステーション 「FMふくしだより」毎週木曜日（12：10～12：15）放送
- ・ホームページの開設及び更新

⑤要援護者との繋がりを構築することで、支援を求めやすくする環境づくり

⑥民生委員・児童委員、福祉委員、並びに町内会・区との連携強化

⑦地域住民、行政機関との協働による地域福祉の推進

⑧住民の繋がりづくりを目的とした「あいさつ運動」の推進

- ・白浜商工祭でポスターの掲示を行い「あいさつ運動」の推進を図った。

⑨移動カフェ事業による住民のニーズ把握や住民同士の集える場づくりの推進

住民同士が気軽に立ち寄れるサロンを目指したカフェ型サロンの推進を図った。

日時	地区	内容
6月 8日(木)	松原地区	カフェサロン立ち上げ勉強会
3月14日(木)	田野井地区	サロン立ち上げについての話し合い

4. ボランティアセンター活動事業の推進

①ボランティアセンター機能の充実・強化

- ・ボランティアセンターにコーディネーターを配置し、他機関との連携・協働を意識し、ボランティアニーズや生活支援ニーズに対して制度の枠にとられない様々なコーディネートを行った。

②ボランティアの相談・登録・斡旋

- ・既存のボランティアグループに対する相談・斡旋等の活動支援を行うと共に、人口減少を視野に入れた次代の担い手育成に努めた。

○ボランティア登録数 延べ367名（白浜地区：294名、日置川地区：73名）

③ボランティア活動保険の加入支援

- ・ボランティア活動保険受付 15団体 746名

④広報紙・ホームページ・マスメディア等を活用した、地域住民に対する地域活動情報の提供並びに積極的な啓発

- ・マスメディア等を活用し地域の住民に対するボランティア・住民活動情報の提供を行った。
 - 広報紙「社協だより ふくししらはま」にボランティア・住民活動情報や各種セミナーの案内を掲載
 - 社協ホームページ等を活用し、ボランティア・住民活動情報の発信
 - FMビーチステーション「FMふくしだより」によるボランティア・住民活動情報の発信

⑤地域活動のきっかけづくりとなる各種分野別セミナーの開講

- ・夏のボランティア体験（児童・生徒へのボランティア体験並びに地域ボランティアとの交流）（8月2日（水））

⑥地域活動を行う個人やグループの活動支援

- ・個人ボランティア並びにグループの運営などに関する相談の受付・支援を行った。
また、常時ボランティア活動に必要な設備や器材の貸し出しや情報提供を行った。

⑦住民主体の地域活動プログラムの開発

⑧多様な組織間との連携・協働（住民組織・行政機関・NPO法人・企業等）

※主な参加行事（その他は日別行事報告書参照）

名 称	開 催 日	場 所	備 考
コスモスの郷フェスタ	—	—	新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止
南紀白浜福祉会夏祭り	8月19日（土）	成華苑	
百々千園盆踊り大会	8月20日（日）	百々千園	

富中フェスタ	8月27日(日)	富田中学校	
第5回みんな集まれ!しら・はぐフェスティバル	10月21日(土) 22日(日)	白浜会館・ 白浜町立総合体育館周辺	
しら浜ふれあい文化祭	11月5日(日)	住民交流センター	
クリーニンググリーン	12月10日(日)	日置志原海岸	

⑨災害ボランティアセンター機能の強化及び設置・運営訓練及び研修会の検討

⑩ボランティアセンター活動拠点の整備、本部事務所別館の利用促進

- ・住民の地域活動、住民向け研修、関係団体等への活動支援
- ・白浜町社会福祉協議会本部事務所別館の利用促進に向けたボランティア並びに福祉関係団体に対する啓発活動の実施

⑪白浜町ボランティア連絡協議会（白浜支部・日置川支部）団体事務

- ・白浜支部 18グループ 延べ 294名
- ・日置川支部 10グループ 延べ 73名

5. 障がい者福祉、児童福祉、ひとり親世帯等の福祉の推進

①障がい者福祉施設等の活動への協力

- ・白浜コスモスの郷、日置川みどり園、いきいき作業所への協力
白浜コスモスの郷フェスタ ⇒新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止
- ・南紀はまゆうサポータークラブ（南紀はまゆう支援学校）への協力

②障がい者福祉関係団体（機関）への協力

- ・白浜町身体障害者連盟への助成
- ・しらひらバリアフリーアート実行委員会への参画
- 第3回白良浜 de ひらひらTシャツアート展（11月3日（金）～6日（月））への協力

③障がい者の生活支援並びに社会参加支援への協力

- ・ランディーズ（砂浜でも行ける車いす）の貸与事業の実施
- ・西牟婁圏域自立支援協議会への参画
- ・基幹相談支援センターにしむろとの連携
- ・西牟婁圏域障害児・者相談センターにじのわとの連携
- ・白浜町障害福祉事業所連絡会への参画

④児童館事業への協力

- ・「第21回わあいわあい子どもまつり」（11月4日（土））

⑤白浜町教育相談室「ふれあいルーム」への協力

- ・拡大会議、定例会議、個別ケース検討会議への参画

⑥子育て支援のための関係機関・団体等との連携及び支援

- ・母子福祉団体への活動助成（母子寡婦福祉連合会）
- ・青少年健全育成活動への協力

白浜町青少年育成町民会議への参画

白浜町青少年育成町民会議への活動助成

- ・紀南里親支援連絡会への参画
- ・くまのっ子児童家庭支援センター「のこのこ」との連携

⑦団体組織支援事業の実施

- ・団体組織支援事業：1団体

6. 社会的包摂にむけた福祉教育と福祉共育の推進

①「第5回みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル」及び「令和5年度地域福祉のひろば」の開催

- ・《第5回 みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル》

テーマ ～さらなる文化と福祉の広がりをめざして～

趣旨 すべての町民の皆さまにご参加をいただき、生涯学習の必要性を深め、それぞれの地域や職場で「ともに学ぶ」「ともに育む」「ともに支え合う」心を共有できる文化と福祉の香るまちづくりをめざします。

主催 しら・はぐフェスティバル実行委員会

主管 白浜町教育委員会・白浜町社会福祉協議会

後援 白浜町・白浜町議会

開催日：令和5年10月21日（土）・22日（日）

会場：白浜会館・総合体育館・青少年研修センター

※名称について：「しら」は①「白」②「学ぶ」から「知る」「調べる」を連想、「はぐ」は①「育む」②「支えあう」から「ハグ」を連想

町民みんなで学び、育ち、支えあい、楽しめるイベント（まつり）になるようにとの願いが込められています。

社会福祉功労者（団体）表彰式

社会福祉功労者 1名 感謝状贈呈者 5名

・《令和5年度地域福祉のひろば》

基調講演 テーマ「コロナ禍の経験からこれからのつながりを考える」

講 師 日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 学長補佐 野尻紀恵氏

実践発表 ・ボランティアグループ「湯崎いで湯会」の活動について

・堅田中央地区ふれあい・いきいきサロンについて

・日置の町を元気にしたい～地元の魅力を発信する総合学習「ひきよせプロジェクト」の活動

②保育園児、幼稚園児、小・中学校の児童生徒への福祉教育（共育）の実践支援

・学校などへのボランティア福祉体験学習（出前講座）の実施

学校からの依頼に基づき、小・中学生を対象に、「ふくしの学び」を促すと共に、体験や交流・ワークショップなどを通じて、同じ地域で生活し、共に共感し学びを共有できる場づくりを行った。

学 校 名	学 年	人 数	開 催 日	内 容	協 力 者	人 数
白浜第一小学校	6年生	26名	1月25日（木）	車いす体験学習、認知症サポーター養成講座	保護者	28名
白浜第二小学校	2年生	10名	5月11日（木）	町探検	地域のボランティア	3名
	2年生	10名	5月16日（火）	町探検	地域のボランティア	3名
	1年生	16名	11月16日（木）	秋探し	地域のボランティア	4名
	4年生	9名	2月13日（火）	地域交流（災害の話）	老人クラブ七湯会	3名
	3年生	12名	2月20日（火）	地域交流（七輪体験）	地域のボランティア	2名

西富田小学校	6年生	54名	6月16日(金)	車いす体験学習、 認知症サポーター養成講座	—	—
南白浜小学校	6年生	5名	10月2日(月)	赤い羽根共同募金事業の説明	—	—
北富田小学校	6年生	15名	2月15日(木)	車いす体験学習	地域のボランティア	10名
富田小学校	4年生	8名	11月24日(金)	白浜町社協の仕事について 車いす体験学習	—	—
日置小学校	5・6年生	10名	10月6日(金)	車いす体験学習	—	—
安宅小学校	3・4年生	3名	6月6日(火)	高齢者疑似体験	—	—
	1・2年生	3名	6月16日(金)	アイマスク体験	—	—
	5・6年生	4名	6月27日(火)	車いす体験	—	—
安居小学校	3・4年生	4名	5月29日(月)	安居小学校放課後クラブ(竹馬づくり)	地域のボランティア	3名
		4名	6月26日(月)	福祉(介護保険事業)について	—	—
		4名	7月18日(火)	認知症サポーター養成講座	—	3名
		4名	10月25日(水)	車いす体験	—	3名
		4名	10月31日(火)	夢の里デイサービス交流	—	—
日置中学校	全校	22名	9月22日(金)	地域を元気にする意見交換会	民生委員・児童委員	15名

・児童・生徒のボランティア活動普及事業の実施 小学校9校、中学校4校へ助成

③住民組織や企業、団体等への福祉学習（研修）・講座開催の推進

- ・在宅福祉課職員の派遣による住民向け出張講座を開催
- ・運動機能教室（介護予防体操）2回
- ・認知症予防教室（認知症サポーター養成講座等）1回
日置川女性会・日置川家庭学級 認知症サポーター養成講座（6月28日（水））

④学校活動等への協力・支援

- ・児童、生徒のケース会議への協力並びに講師派遣等の実施
- ・白浜第二小学校創立150周年記念行事実行委員会への参画
8月21日（月）、9月21日（木）、10月18日（水）、2月13日（火）、3月27日（水）
11月25日（土） 白浜第二小学校150周年わくわく体験博 in 湯崎
- ・白浜第二小学校クラブ活動への協力
5月18日（木）、7月6日（木）、10月5日（木）、12月14日（木）、2月15日（木）
- ・学校内における児童、生徒、住民のふれあいの場づくり（サロン活動支援）
富田中学校図書館ボランティア（学校での居場所づくり）への協力
富田中学校育友会主催 とんフェスへの参画（8月27日（日））
- ・日置中学校 まちを元気にする！意見交換会（9月22日（金））
- ・安居小学校と三舞中学校の地域交流活動
学校と地域との交流事業を継続的に実施し、途切れない学校と地域の連携を支援した。

学 年	開 催 日	内 容	協 力 者	人 数
安居小学校・三舞中学校	6月16日（金）	茶摘み体験	校区川添地区住民	6名
	7月14日（金）	防災キャンプ第1回実行委員会	校区三舞地区住民	1名

	7月19日(水)	サバイバルクッキング練習会	校区三舞地区住民	3名
	7月27日(木)	防災キャンプ第2回実行委員会	校区三舞地区住民	1名
	8月3日(木)	防災キャンプ第3回実行委員会	校区三舞地区住民	1名
	8月5日(土)	安居小学校・三舞中学校防災キャンプ	校区三舞地区住民	12名
	10月26日(木)	安居小・三舞中学校・川添地区交流会	校区川添地区住民	6名
	11月6日(月)	茶煎り体験	校区三舞・川添地区住民	3名

7. 保健・医療・福祉のネットワークづくりの充実

①保健・医療・福祉関係機関との連携強化

- ・地域ケア個別会議等への参加
- ・連携関係会議及び研修への参加
- ・事例検討会への参加
- ・白浜町介護保険サービス提供事業者連絡会への参画
- ・白浜町障害福祉サービス事業所連絡会への参加
- ・白浜町訪問介護事業所連絡会への参加
- ・白浜町居宅介護支援事業所連絡会への参加
- ・白浜町健康づくり推進会議健康推進協議会への参画
- ・白浜町認知症総合支援事業検討会議への参画
- ・自殺防止対策会議への参画及び三段壁周辺パトロールへの協力
- ・白浜町環境保全協議会への参画

8. 福祉総合相談、生活困窮者並びに判断能力の十分でない方への相談援助の充実

①福祉相談所の開設

- ・一般相談（福祉・生活相談）及び専門相談（法律・人権・財産・登記・成年後見）を、担当者を配置して実施した。
- ・電話相談も含め常時相談受け付け体制を確保した。
- ・福祉相談員会議の実施

開催日：令和6年2月22日（木）

場 所：白浜町社会福祉協議会本部事務所

○相談実施場所 白浜地区：本部事務所、青少年研修センター

日置川地区：高齢者生活福祉センター夢の里、みまい荘、川添山村活性化支援センター

○相談担当者 福祉相談員11名（民生委員・児童委員）、弁護士1名、司法書士1名、人権擁護委員、法務局職員）

【相談所の月別相談実績】

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度	3	6	4	5	0	3	1	6	8	6	5	3	50
令和4年度	3	5	4	3	3	5	3	2	4	9	8	7	56
前年比	100%	120%	100%	167%	0%	60%	33%	300%	200%	67%	63%	43%	89%

【相談所の相談内容別実績】

相談内容	生計	多重債務等	貸金	家賃未払い	生命保険	住宅ローン	年金	職業・生業	住宅・土地	家族	離婚	健康・衛生	医療	精神保健	人権・法律	財産	事故	母子保健	児童福祉・青少年	教育・福祉	障がい児者	相続	苦情	その他	計
件数	0	3	1	1	0	0	0	0	9	5	2	1	0	0	1	0	3	0	0	0	11	3	10	50	

②常時相談受付体制の確保

- ・電話相談も含めた、常時相談の受付体制の確保

③生活福祉資金貸付事業（実施主体：和歌山県社会福祉協議会）の実施

- ・令和6年3月31日現在 貸付件数 延べ 16件 償還完了 3件
- ・令和5年度における貸付件数： 11件（総合支援資金生活支援費3件、緊急小口資金4件、福祉費生活保護世帯向け4件）
貸付総額：998,229円
- ・貸付滞納者への償還指導並びに状況把握による支援

④生活福祉資金特例貸付債務世帯へのフォローアップ支援の実施

特例貸付・・・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金で困窮している世帯に向けた貸付（実施期間：令和2年3月25日～令和4年9月30日）

貸付件数 延べ739件 貸付総額 270,915,000円

内、令和6年3月31日現在 償還免除 延べ283件 償還免除額 97,399,440円

※非課税世帯、生活保護受給世帯、障害者手帳所持者については、申請により償還免除。また、経済的理由等で償還が難しい場合は償還猶予（1年間）の申請が可能。償還猶予期間終了後にまだ償還が難しい場合は償還猶予の延長の手続きを実施。

償還猶予申請 6件 償還猶予延長 4件

- ・自立相談支援機関及び関係機関との連携を図り、債務管理及び債務世帯への生活支援を実施

⑤生活一時資金貸付事業の実施

- ・令和6年3月31日現在 貸付件数 延べ 8件（滞納件数含む） 償還残額 264,000円
- ・令和5年度における貸付件数 1件 貸付総額 50,000円

⑥生活困窮者支援事業への協力

- ・「令和5年度生活困窮者支援等のための地域づくり事業」受託実施

○要支援者台帳の作成

71歳以上のひとり暮らし高齢者、寝たきりの障がい者、地域で気になる住民の実態把握を行い、要支援者台帳の整備を行った。

○訪問調査票及び実績報告書の作成

実態把握により抽出された要援護者の中で、サービスに結びついていない方に介護保険への紹介、地域支援サービス事業への支援を行った。

○地区担当職員（地域福祉専門員）を地域のコーディネーター役として配置し、地域住民、民生委員・児童委員等からの相談対応の調整を図った。

○生活困窮者支援プロジェクト会議への参画 10回

町内における生活困窮者支援について情報交換や事例検討等を通じて、関係者が現状と課題を共有し、それらを支えるための「施策提言」「新たな社会資源の開発」も視野に入れ今後の対策を検討した。

令和5年度は、生活福祉資金特例貸付の借受人で継続支援を行っているケースについて情報共有を図り、今後の支援方法の検討や役割分担の明確化、連携の強化を図った。

○令和5年度生活困窮者支援等のための地域づくり事業研修会

若年層からの生活困窮者支援への取り組みを進めるため、教職員を対象としたケースの見立て勉強会を開催した。

対象者	開催日	内容	講師	人数
富田中学校教職員	5月31日（水）	ケースの見立ての方法①（ホワイトボードの活用方法）	日本福祉大学社会福祉学部 学長補佐 野尻 紀恵氏	20名
	7月31日（月）	ケースの見立ての方法②（ホワイトボードの活用実践）		22名
	10月23日（月）	ケースの見立ての方法③（グループワーク・実際の見立て）		16名

- ・生活困窮者支援のための関係団体（機関）との連携・協働
- ・生活困窮者支援事業（食料品等の現物給付事業）

緊急に衣食住の支援が必要な経済的困窮者に対して、行政機関や町内の関係団体と連携しながら当面の食料品等の現物支給の体制を整備。

⑦福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）の実施

- ・判断能力が不十分な高齢者や知的障がい・精神障がいのある方などが安心して生活がおくれるよう定期的に専門員、生活支援員がお伺いし、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を支援した。

新規契約数：0件、解約件数：4件

令和6年3月31日現在 契約実数：29件 生活支援員：2名

- ・専門員、生活支援員研修会への参加

⑧成年後見制度利用促進に向けた体制整備への協力と法人後見事業の推進

- ・成年後見制度に関連した相談の受付体制の整備
- ・法人後見（成年後見、任意後見等）の推進と体制強化

○成年後見制度に関する相談を受けると共に、家庭裁判所からの推薦依頼に基づき成年後見人の業務を法人として行う法人後見事業を実施した。

令和6年3月31日現在 受任件数：成年後見等 4件（後見3件、保佐1件）
任意後見契約 2件

- ・広報啓発活動の実施
 - 地域福祉推進受託事業（白浜町成年後見制度普及啓発事業）の実施
- ・権利擁護のための関係機関との連携・協働
 - 成年後見制度及び中核機関に関する研修会へ参加
- ・成年後見利用促進に係る担当者受任調整会議への参画

⑨歳末支援金配分事業の実施

- ・歳末支援金配分事業：53件
- ・生活困窮者支援事業：支援物資（レトルト食品等）の購入

9. 福祉関係団体（機関）と地域住民の連携による高齢者の社会参加の推進

①高齢者の社会参加の推進と活動支援

- ・白浜町老人クラブ連合会（白浜支部・日置川支部）への協力と連携
- ・単位老人クラブへの活動支援
- ・老人クラブ事業への活動支援
 - 白浜町老人クラブ連合会白浜支部主催「シニアレクリエーション大会」（11月1日（水））への協力
 - 白浜町老人クラブ連合会日置川支部主催「高齢者運動会」（11月9日（木））への協力
 - 白浜町老人クラブ連合会日置川支部主催「気になる高齢者定期見守り活動事業」への協力
 - 白浜町老人クラブ連合会白浜支部主催「歌と踊りのふれあいの場」（3月14日（木））への協力
 - 白浜町老人クラブ連合会日置川支部主催「ペタンク・グラウンドゴルフ交流大会」（3月12日（火））への協力⇒雨天の為中止
 - 白浜町老人クラブ連合会主催「1日遠足」（12月6日（水））
- ・敬老会白浜会場（9月28日（木））、日置川会場（9月30日（土））への協力

②関係機関・団体との連携による高齢者の社会参加の推進

- ・寝たきり高齢者等見舞品贈呈事業：大判バスタオル23枚（白浜地区 18枚、日置川地区 5枚）
- ・愛の日事業の実施
 - 75歳以上のひとり暮らし高齢者（令和5年度より、対象年齢を70歳から75歳に変更）に対して、町内の保育園児・幼稚園児・学童保育が贈り物を作成、民生委員・児童委員により訪問
 - ※対象年齢を75歳以上に引き上げた為、昨年度までお届けしていた方には引き続き訪問を依頼しお届けした。
 - 届けた贈り物の数：604個（白浜地区 395個、日置川地区 209個）
- ・おせち料理配布事業：14件

10. 地域住民、行政及び関係機関との連携による災害時における救援体制整備の推進

①災害等に備えた組織基盤の整備と事業継続計画の作成への取り組み

②白浜町地域防災計画に基づく、避難行動要支援者の情報収集、避難行動要支援者名簿の作成・利用・提供体制を確立し、災害時に的確な避難支援を行える体制づくりへの協力

③災害ボランティアセンターの体制整備の推進

・令和5年度 和歌山県市町村社協連絡協議会 業務課題検討会「災害時の社協活動」への参加

④災害ボランティア活動環境整備並びに被災地支援活動の推進

・令和5年梅雨前線及び台風第2号による大雨災害（海南市災害ボランティアセンター）への職員派遣

災害時の相互支援協定に基づく海南市社協への職員派遣 職員1名（令和5年6月20日（火）～令和5年6月22日（木））

災害ボランティア職員派遣 職員1名（令和5年6月7日（水））

災害ボランティア職員派遣 職員9名（令和5年7月2日（日））

災害ボランティア職員派遣に伴う事前説明会（令和5年6月28日（水））

・能登半島地震による被災地への職員派遣（羽咋市災害ボランティアセンター）への職員派遣

災害時の相互支援に関する協定に基づく羽咋市社協への職員派遣 職員1名（令和6年3月20日（水）～令和6年3月26日（火））

・能登半島地震の被災地支援に関する市町村社協情報共有会議への参加

⑤自主防災組織及び町内会・区の実施する防災訓練等への参画

・日置区保小中合同避難訓練（寺山、松原、村島避難場所）

・安居区・安居小学校・三舞中学校合同避難訓練・防災学習

⑥和歌山県社会福祉協議会、田辺・西牟婁災害対応訓練事業等への参画

- ・令和5年度 広域・同時多発災害対応訓練の参加
 - 令和5年12月3日（日）開催 新宮市・那智勝浦町→津波注意報により中止
- ・令和5年度 田辺・西牟婁災害対応訓練
 - 令和6年1月27日（土）開催

11. 在宅介護事業運営の安定化と充実

①介護予防・日常生活支援総合事業

- ・介護予防ケアマネジメント事業の実施
- ・介護予防・日常生活支援 訪問介護（ホームヘルプサービス）事業の実施
- ・介護予防・日常生活支援 通所介護（デイサービス）事業の実施

②介護保険事業

- ・居宅介護支援（ケアマネジメント）事業の実施
- ・訪問介護（ホームヘルプサービス）事業の実施
- ・通所介護（デイサービス）事業の実施

③障がい福祉サービス事業

- ・障がい者居宅介護サービス・障がい者同行援護サービス（ホームヘルプサービス）
- ・移動支援サービス（移動支援事業）
- ・障がい者デイサービス（日中一時支援事業）

事業実績（事業所別）

【居宅介護支援事業】

居宅介護支援については、事業対象者、要支援・要介護者、家族等からの相談を受け、その心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮しながら調整に努めた。また、利用者の人権を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービス提供に努めた。

・（居宅サービス計画：総合事業）（事業対象者、要支援1、要支援2）

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和5年度	33	32	32	32	33	33	36	36	37	39	40	40	423
	令和4年度	30	28	28	28	30	31	29	32	36	34	34	35	375
	前年比	110%	114%	114%	114%	110%	106%	124%	113%	103%	115%	118%	114%	113%

・（居宅サービス計画：介護保険）（要介護1～5）

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和5年度	134	133	136	133	131	130	128	129	124	121	122	117	1,538
	令和4年度	140	142	136	134	126	132	132	124	124	125	129	128	1,572
	前年比	96%	94%	100%	99%	104%	98%	97%	104%	100%	97%	95%	91%	98%

【訪問介護事業】

介護保険法、障害者総合支援法等に基づき、白浜町内の要介護者及び要支援者・事業対象者に対し訪問介護サービスを提供し、個々の能力、地域の状況に応じて自立した日常生活が営めるよう努めた。また、利用者の人権を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービス提供に努めた。

・訪問型サービス（事業対象者、要支援1、要支援2）

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和5年度	48	47	45	47	45	46	52	53	52	51	50	56	592
	令和4年度	47	42	43	44	48	49	48	47	48	44	47	48	555
	前年比	102%	112%	105%	107%	94%	94%	108%	113%	108%	116%	106%	117%	107%

利用回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和5年度	298	289	303	316	293	285	314	302	307	298	292	336	3,633
	令和4年度	304	267	266	277	299	331	297	294	296	259	285	294	3,469
	前年比	98%	108%	114%	114%	98%	86%	106%	103%	104%	115%	102%	114%	105%

・訪問介護サービス（要介護1～5）

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和5年度	62	63	63	59	61	60	55	55	54	49	49	45	675
	令和4年度	72	73	69	69	62	60	61	62	61	60	60	60	769
	前年比	86%	86%	91%	86%	98%	100%	90%	89%	89%	82%	82%	75%	88%

利用回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和5年度	939	939	904	827	776	848	810	702	649	612	622	651	9,279
	令和4年度	1,014	1,006	997	1,016	958	897	941	914	934	887	870	927	11,361
	前年比	93%	93%	91%	81%	81%	95%	86%	77%	69%	69%	71%	70%	82%

・障がい福祉サービス（居宅介護、同行援護）

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和5年度	10	10	10	9	8	7	6	7	7	6	7	7	94
	令和4年度	8	8	9	8	8	9	10	12	13	13	12	12	122
	前年比	125%	125%	111%	113%	100%	78%	60%	58%	54%	46%	58%	58%	77%

利用回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和5年度	113	119	105	102	99	98	51	49	51	49	48	51	935
	令和4年度	67	67	70	64	71	66	67	76	124	116	82	98	968
	前年比	169%	178%	150%	159%	139%	148%	76%	64%	41%	42%	59%	52%	97%

・障がい者地域支援事業（地域移動支援事業）

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和5年度	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	10
	令和4年度	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	10
	前年比	100%	100%	100%	100%	0	0	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

利用回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和5年度	7	8	7	3	0	0	9	9	6	7	6	4	66
	令和4年度	7	6	6	1	0	0	6	4	9	7	7	6	59
	前年比	100%	133%	117%	300%	0	0	150%	225%	67%	100%	86%	67%	112%

【通所介護事業】

介護保険法、障害者総合支援法等に基づき、白浜町内の要介護者及び要支援者・事業対象者に対し、心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう努めた。また、利用者の人権を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービス提供に努めた。

・通所型サービス（事業対象者、要支援1、要支援2）

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和5年度	12	10	11	11	11	10	12	13	13	12	13	15	143
	令和4年度	12	12	12	11	11	11	10	10	11	10	13	14	137
	前年比	100%	83%	92%	100%	100%	91%	120%	130%	118%	120%	100%	107%	104%

利用回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和5年度	55	45	51	56	58	56	60	69	75	55	68	84	732
	令和4年度	67	70	65	66	33	53	54	54	55	51	62	64	694
	前年比	82%	64%	78%	85%	176%	106%	111%	128%	136%	108%	110%	131%	105%

・通所介護サービス（要介護1～5）

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和5年度	39	40	40	35	34	36	36	36	33	35	35	35	434
	令和4年度	40	42	41	42	39	39	37	35	37	35	34	35	456
	前年比	98%	95%	98%	83%	87%	92%	97%	103%	89%	100%	103%	100%	95%

利用回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和5年度	340	365	322	329	328	339	341	314	303	256	316	309	3,862
	令和4年度	361	367	356	362	188	362	343	308	302	265	278	325	3,817
	前年比	94%	99%	90%	91%	174%	94%	99%	102%	100%	97%	114%	95%	101%

・町単独障がい者デイサービス

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和5年度	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	令和4年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	前年比	100%	100%	100%	100%	100%	0	0	0	0	0	0	0	42%

利用回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和5年度	4	5	5	4	4	0	0	0	0	0	0	0	22
	令和4年度	5	5	4	5	3	5	4	5	5	4	4	5	54
	前年比	80%	100%	125%	80%	133%	0	0	0	0	0	0	0	41%

④在宅生活援助事業

⑤苦情解決事業

- ・苦情解決責任者、苦情解決受付担当者の設置
- ・苦情解決第三者委員の設置
- ・「苦情解決第三者委員会議」を開催し、居宅サービス事業の状況報告を行った。

⑥各事業所による連携強化の実施

- ・在宅福祉事業担当者（管理者）会議の実施
- ・職員の資質及び経営意識の向上を図るための研修等の実施

在宅福祉事業担当者会議において、各事業所の運営状況の確認を行うと共に、事業所情報の共有と運営の改善を行った。又、各事業所で行う研修を増強し、職員の資質及び経営意識の向上を図った。

通所介護・訪問介護においては、ICT機器の導入を行い、事務作業の軽減、効率化を図り運営の改善を行った。

本年度は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類への移行にあたり、各事業所内外での感染予防対策の再検討を行い、感染予防を図りながら事業の実施に努めた。

- ・在宅福祉事業担当者（管理者）会議の実施 5回実施
- ・白浜町社会福祉協議会虐待防止委員会会議の実施
- ・業務継続計画（BCP）の策定
- ・職員の資質及び経営意識の向上を図るための研修等の実施

【居宅介護支援事業所】

内部研修の実施 12回実施

職員間の伝達会議の実施 52回実施

和歌山県介護支援専門員協会主催の研修会への参加

【訪問介護事業所】

内部研修 36回実施

職員間の伝達会議の実施 36回実施

人権研修 8回実施

職員個別研修の実施 各職員年1回

サービス提供責任者研修の実施（同行援護応用課程） 2回
（嚥下食作り） 1回
（コミュニケーション道場） 2回

【通所介護事業所】

内部研修 12回実施

⑦ ICT機器導入による業務の効率化

- ・訪問介護、通所介護にICT機器の導入の実施

⑧地域や関係機関での講座等への講師派遣の実施

地域福祉課が実施する住民組織や町内小中学校の福祉体験学習へ、在宅福祉課職員の講師の派遣を行い地域福祉の増進に寄与した。

資格保持者による外部講師

- ・福祉体験学習への講師派遣（車いすの操作） 4回実施 訪問介護事業所職員4名
- ・福祉体験学習への講師派遣（視覚障がい者体験学習） 1回実施 訪問介護事業所職員1名
- ・福祉体験学習への講師派遣（高齢者疑似体験学習） 1回実施 訪問介護事業所職員1名
- ・福祉体験学習への講師派遣（介護保険事業の説明） 1回実施 訪問介護事業所職員1名 通所介護事業所職員1名 居宅介護支援事業所職員1名
- ・椿婦人学級への講師派遣（健康講座） 1回実施 通所介護事業所職員1名
- ・さざ波学級への講師派遣（健康講座） 1回実施 通所介護事業所職員1名

12. 在宅福祉受託事業、地域支援受託事業等の行政委託事業の受託運営

①在宅福祉受託事業（民生課【福祉係】委託事業）

- ・訪問介護員派遣事業（処遇困難な独居高齢者・高齢者世帯等）の受託運営・・・延べ5回
- ・障害者生活指導員派遣事業の受託運営・・・延べ2回
- ・デイサービス事業（処遇困難な独居高齢者・高齢者世帯等）の受託運営
- ・配食サービス事業（調理等が困難な心身障がい者等）並びに食の自立アセスメントの受託運営・・・延べ146食

②地域支援受託事業：包括的支援事業・任意事業（民生課【地域包括支援センター】委託事業）

- ・ランチ相談窓口事業（日置川地域）の実施

地域包括支援センターのランチ相談窓口として、日置川地域の高齢者の相談支援を実施

【相談件数】

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日置川支部	2	2	0	0	2	2	3	1	0	2	0	2	16

- ・配食サービス事業【高齢者等日常生活支援事業】（昼食弁当の配食・安否確認）の実施

※白浜事業所の一部再委託を実施

配食数	事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	白浜事業所	379	333	403	369	362	386	427	390	445	422	420	408	4,744
	日置川支部	211	214	220	182	165	177	179	190	187	183	184	191	2,283
	令和5年度	590	547	623	551	527	563	606	580	632	605	604	599	7,027
	令和4年度	588	536	656	615	575	587	587	564	602	565	594	662	7,131
	前年比	100%	102%	95%	90%	92%	96%	103%	103%	105%	107%	102%	90%	99%

・高齢者等介護者支援員派遣事業の実施

○支援員の活動内容

高齢者等を介護する家族等の休息時間を確保し、介護負担の軽減を図るため、介護者支援員を派遣し見守り・話し相手等を行う。

利用者 1名 16回

・生活支援サポーター養成事業の実施

講座名	開催日	講師	人数
「地域の拠り所づくり学習会」(白浜・富田地区)	11月6日(月)	和歌山県生活支援専門アドバイザー 健康生きがづくりアドバイザー 市野 弘氏	29名
「地域の拠り所づくり学習会」(日置川地区)	11月6日(月)	和歌山県生活支援専門アドバイザー 健康生きがづくりアドバイザー 市野 弘氏	22名
家庭でできる簡単介護技術について	1月26日(金)	白浜町社会福祉協議会在宅福祉課	11名
住民のつながりづくりを考える勉強会	2月24日(土)	日本福祉大学 学長補佐 野尻 紀恵氏	22名
災害ボランティアセンターの活動について 地域づくりについてのグループワーク	3月15日(金)	白浜町社会福祉協議会地域福祉課	12名

・生活支援体制整備事業にかかる第1層並びに第2層生活支援コーディネーターの配置

今年度より新たに第1層生活支援コーディネーターを受託し、第2層生活支援コーディネーターと共に高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備の推進を図った。

○第1層(白浜町全域)生活支援コーディネーターの配置(1名・兼務)

○第2層(白浜・富田・日置川の3地区)生活支援コーディネーターの配置(3名・兼務)

○生活支援体制事業第1層協議体への参画

名 称	開 催 日	内 容
令和5年度第1回白浜町生活支援体制整備事業協議体	8月28日(月)	1. 生活支援コーディネーターからの活動報告について 2. 白浜町介護予防・日常生活支援総合事業：通所型サービスCについて 3. その他
令和5年度第2回白浜町生活支援体制整備事業協議体	3月 8日(金)	1. 生活支援コーディネーターからの活動報告について 2. 第9期介護保険計画及び老人福祉計画(案)について 3. その他

③地域支援受託事業：一般介護予防事業（住民保健課【健康増進係】委託事業）

- ・地域デイサロン事業の実施

実施場所 白浜、富田、椿・日置・三舞の3ヵ所で実施

利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
	61	63	66	60	55	63	61	63	64	61	64	66	747

- ・ふれあい・いきいきサロン事業運営支援の実施

白浜地区 14地区(登録)・・・ 9地区 延べ 74回 延べ 999名

日置川地区 7地区(登録)・・・ 5地区 延べ 33回 延べ 493名

・ふれあい・いきいきサロン連絡会の開催

・広域型サロンの実施

サ ロ ン 名	内 容	開 催 場 所	回 数	人 数
サロンレインボー	喫茶サロン	美之浦保健センター	8回	50名
作って食べよう会	食事提供型サロン	美之浦保健センター	8回	67名

13. 高齢者生活支援ハウス受託事業（高齢者生活福祉センター夢の里運営事業）の 受託運営の安定化と居住部門機能の充実

①居住提供事業（居住部門）の実施

・サービス内容

○食事提供が必要な方に昼食・夕食を提供

○在宅生活同様、介護保険制度・障がい福祉サービス等の在宅福祉サービス（地域支援事業・介護予防日常生活支援総合事業・介護予防事業・訪問介護・通所介護・訪問看護等）の利用で生活の自立を支援

○自立を基本としながら、生きがいつくり、趣味・娯楽活動を支援

《主な入居者対象行事等》

日帰りの外出支援サービス（食事会・スーパー等への買い物外出等）、保育園、小学校、地域住民との交流ほか

⇒新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止

○体調不良時の医療機関受診介助

○買い物支援（代行での買い物、移動スーパーの受け入れ）

○定期的な見守り、相談支援

②緊急時の短期入居の受入れ体制の確保

- ・白浜町高齢者緊急ショートステイ事業

③建物・設備等の経年劣化部の修繕、及び補修等の実施

令和5年度末の入居利用状況・・・9室（9名） 年間延べ利用者 11名（内1名白浜町高齢者緊急ショートステイ事業）

14. 共同募金事業への協力

①白浜町共同募金委員会の運営支援

- ・白浜町共同募金委員会の開催

開催日：令和5年9月1日（金）

場 所：白浜町社会福祉協議会本部事務所

②赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金の実施

- ・福祉委員や町内会・区の協力を得て、目標額達成に努めた。

共同募金実績額 一 般 募 金 2,442,368円

歳末たすけあい募金 2,054,433円

- ・街頭募金及び啓発活動の実施

福祉委員、町内5小学校児童、3中学校生徒の協力を得て、町内9ヶ所にて啓発並びに募金活動を行った。 募金総額 137,026円

- ・令和6年能登半島地震災害義援金の募金及び啓発活動の実施
広報誌やFMにて募金の呼びかけを実施。事務所窓口や愛のバザー実施時に募金箱を設置。
集まった募金については中央共同募金会に送金。 募金総額 139,012円

15. 支援事業の充実

①福祉器具貸与事業の実施並びに福祉用具・介護用品等の斡旋

- ・福祉器具貸与事業の実施

白浜地区	車いす	42件	介護用ベッド	5件	その他	0件
日置川地区	車いす	12件	介護用ベッド	10件	その他	2件

- ・福祉用具・介護用品等の斡旋

②愛のバザー・福祉バザーの開催とバザー事業への取り組みについての検討

(白浜地区) 令和6年3月3日(日) 白浜会館(阪田)にて開催 売上金額381,300円

(日置川地区) 日置川地域関係団体と福祉バザー開催に向けての協議

③地域を元気にする活動への協力

- ・白浜商工祭への協力(令和5年4月15日(土)・16日(日))
- ・南紀白浜トライアスロン大会への協力(令和5年5月21日(日))
- ・ごみと環境フェアへの協力(令和5年6月25日(日)・26日(月))
- ・第31回南紀日置川リバーサイドマラソン大会への協力(令和5年11月12日(日))